たつの市定例記者会見資料	
発表年月日	令和6年10月7日（月）
担当課	教育事業部歴史文化財課 （室津海駅館）
電話	0791-63-0907

報道機関各位

令和6年度 室津海駅館特別展 「海からの伝言～室津の海揚がり陶磁器～」を開催

御津町室津の大浦海岸には、陶磁器の破片が散布していることが古くから知られていました。採集された破片のなかには国内外の貴重な遺物が多数含まれており、数年前から、大手前大学史学研究所によって調査研究が進められてきました。

このたび研究成果を紹介する特別展を室津海駅館で開催します。大浦海岸で採集された古代から近世までの遺物を展示するとともに、遺物の調査研究から明らかとなった瀬戸内海における流通の一端を紹介します。

- 1 開催期間 令和6年10月26日（土）～12月1日（日）
9時30分～17時（入館は16時30分まで）
- 2 開催場所 たつの市立室津海駅館（たつの市御津町室津457）
- 3 休館日 月曜日（11月4日を除く）、11月5日（火）
- 4 入館料 高校生以上200円／小・中学生100円
※ 11月9日（土）・10日（日）は「関西文化の日」のため入館料無料
※ 「ひょうごっ子ココロンカード」提示で入館料無料
- 5 展示作品 室津・大浦海岸採集の陶磁器

初公開！

【古代・中世（11世紀後期～16世紀代）】
中国磁器（白磁・青磁・青白磁・青花製品）、中国陶器、備前焼、常滑焼、東播系須恵器、防長系土師器、吉備系土師器など
★ 採集された陶磁器のうち、古代・中世のものでは中国磁器が多くを占めており、これらの中国磁器を積載した船が瀬戸内海を航海していたことがわかる。

【近世（17世紀代以降）】
肥前磁器、中国磁器、瀬戸美濃磁器、砥部焼、肥前陶器、京焼系陶器、新宮焼、萩焼、備前焼、丹波焼、堺・明石焼、大谷焼など
★ 肥前磁器のうち、ヒビが入ったものや焼成不良のものは、不良品が良品と共に運ばれ、運搬途中に室津の海へ廃棄されたと思われ、当時の陶磁器流通の実態を垣間見る発見である。
- 6 関連行事 ①記念講演「海揚がり陶磁器と室津」
講師 赤松和佳氏（大手前大学史学研究所研究員）
日時 11月30日（土）14時～15時30分
定員 30名（先着順）

②展示解説

講 師 義則敏彦（たつの市立埋蔵文化財センター館長）

日 時 11月2日（土）14時～15時

定 員 15名（先着順）

※①・②はいずれも参加費無料（ただし入館料が必要）

※窓口または電話、電子申請で事前に申し込み。